

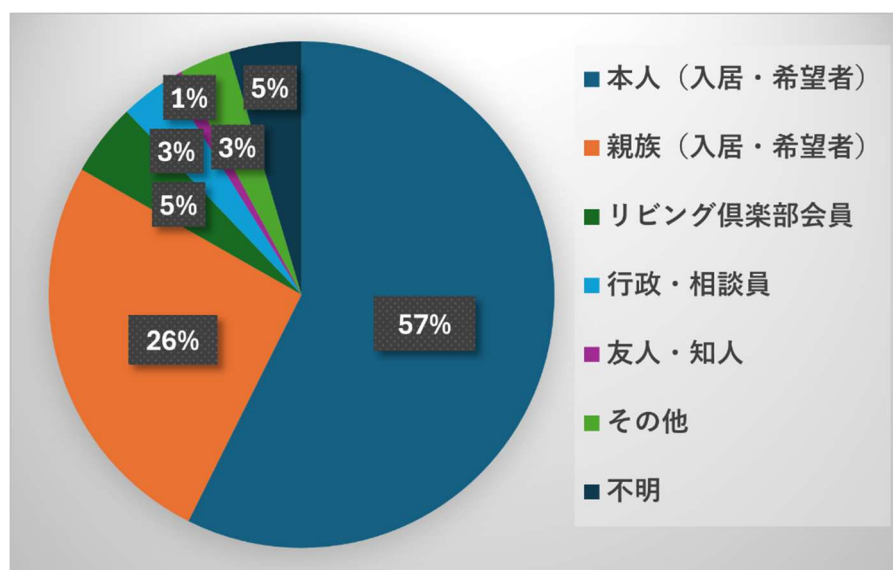
有老協 入居相談報告書(2024.4-2025.3)

公益社団法人全国有料老人ホーム協会(以下「有老協」)では、有料老人ホーム等への入居検討者から相談を受け付けています。以下の内容は、2024年度に対応した相談370件の内容を集計したものです。相談者の種別や相談内容の傾向等をまとめておりますので、ご覧ください。

1. 相談者・相談方法について

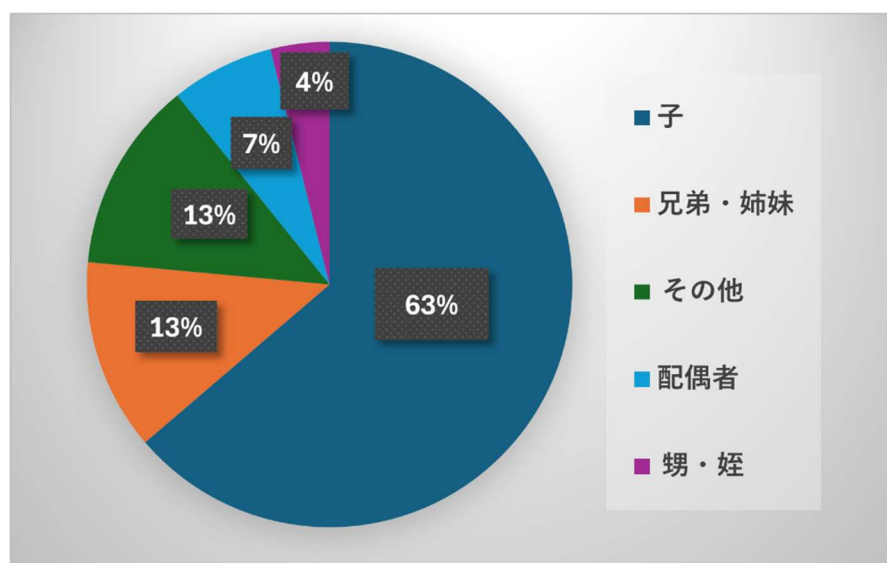
①相談者の内訳

相談者は、本人からの相談が57%、親族からの相談が26%で、ご自身で有料老人ホームを探している方からの相談が半数以上を占めている。



②親族と入居検討者との続柄

相談者が親族の場合の内訳は、子供からの相談が63%、ついで兄弟・姉妹が13%となっている。本人以外が有料老人ホームを探す場合、半数以上が子供からの相談である。また、その他は消費生活センターや入居希望者の友人・知人からの相談である。



③相談方法

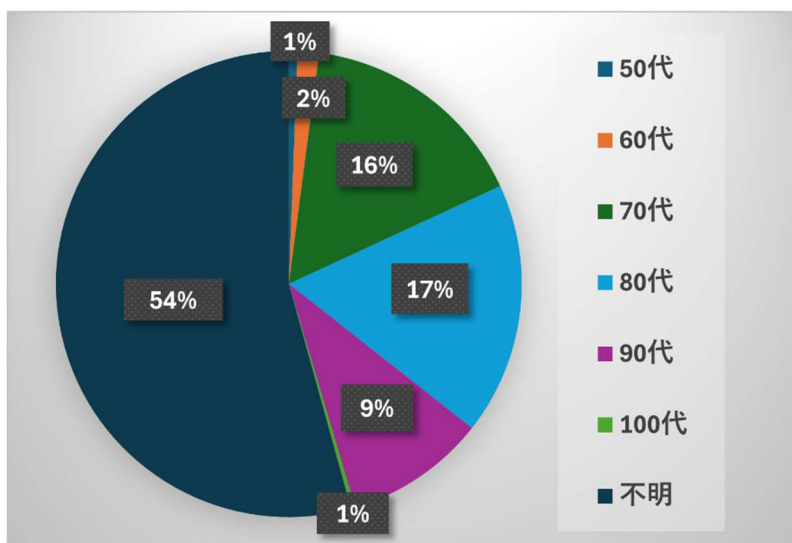
電話による相談が90%、来会による相談が5%、メール・FAX による相談が5%となっており、電話による相談が 9 割を占めた。

2. 入居検討者について

①年代(非該当除く)

入居検討者(337 件)の年代は、不明が 54%となるが、年代が判明している割合を比較すると、70代が 16%、80 代が 17%、90代が 9%であった。

年代	人数	%
50 代	2	1%
60 代	5	2%
70 代	54	16%
80 代	59	17%
90 代	33	9%
100 代	1	1%
不明	183	54%
合計	337	100%



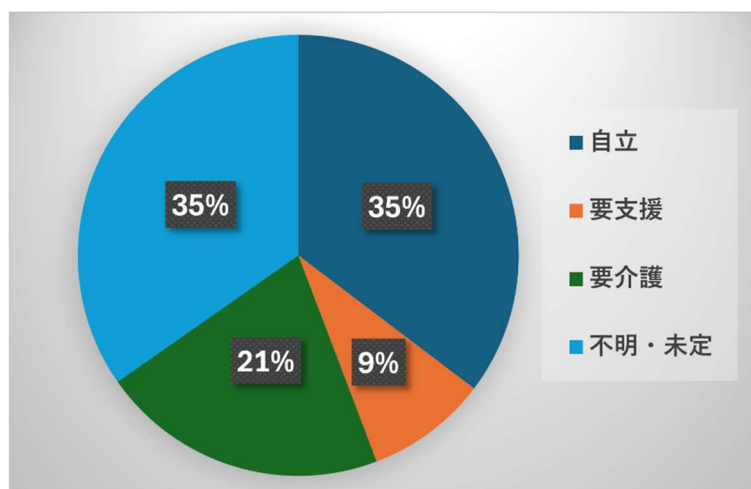
②性別(非該当除く)

入居検討者の性別では女性が 56%、男性が23%、夫婦が 2%、不明が19%であった。

③現在の要介護度(非該当除く)

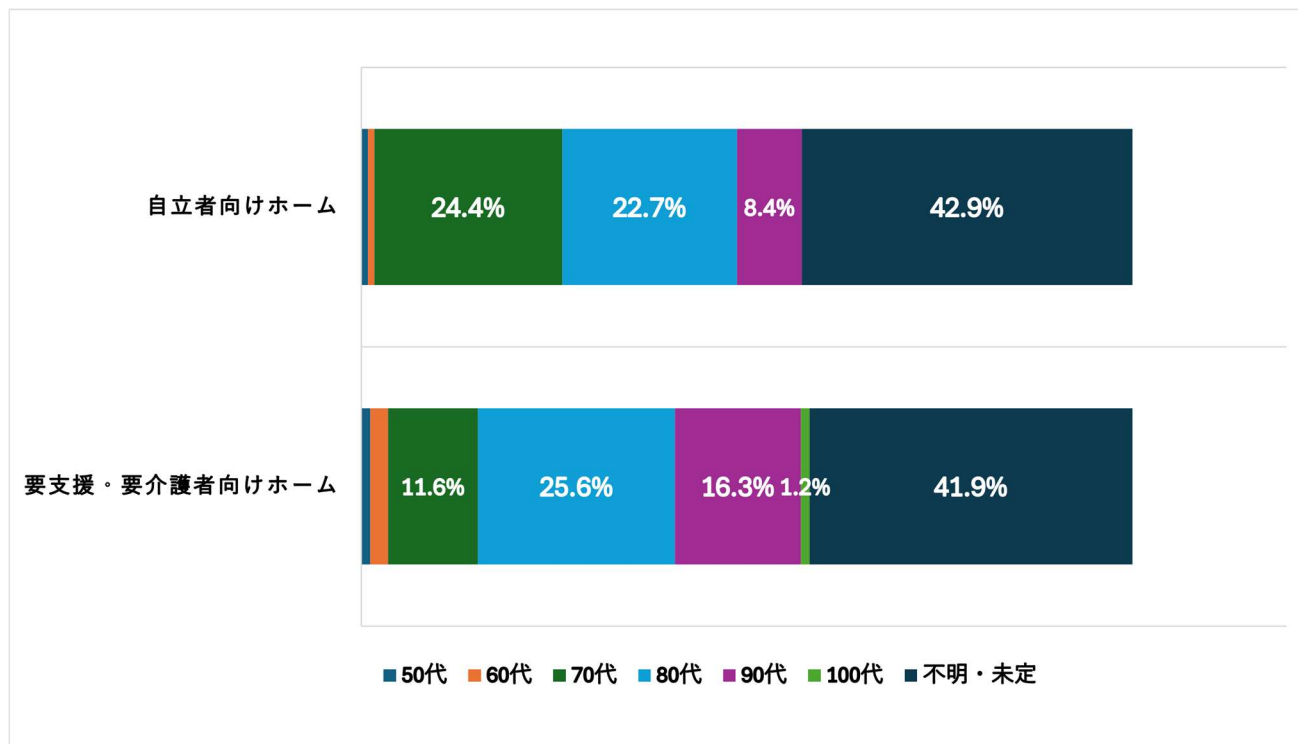
入居検討者の自立・要支援・要介護の内訳をみると、自立者が 35%、要支援者が 9%、要介護者が 21%であった。

	件数	%
自立	119	35%
要支援	30	9%
要介護	71	21%
不明・未定	117	35%
計	337	100%



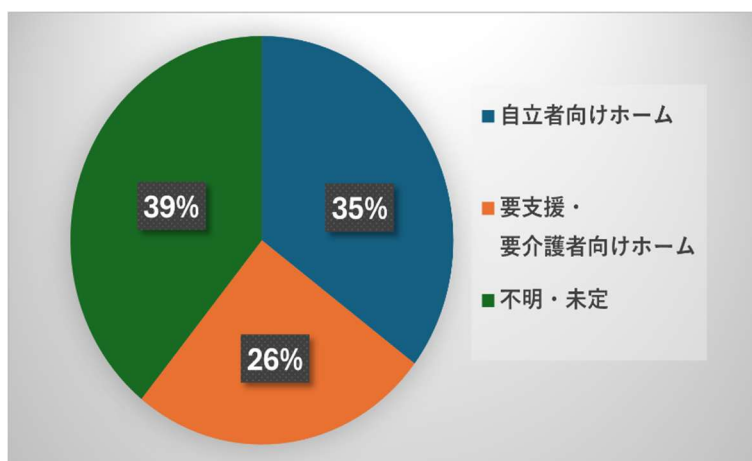
④入居を希望するホームの種類(非該当除く)

入居検討者(337 件)の年代によって「自立者向けホーム」と「要支援・要介護者向けホーム」のどちらを希望するのか集計をすると、今回は70代では自立者向けホームを希望する方が多く、80代は要支援・要介護者向けホームを希望する方が若干多くなり、90代は要支援・要介護者向けホームを希望する方が自立者向けホームを希望する方の約2倍となった。



全年代では、希望するホームは自立者向けホームの割合が35%で昨年(50%)より15%減少した。

	件数	%
自立者向けホーム	119	35%
要支援・ 要介護者向けホーム	86	26%
不明・未定	132	39%
計	337	100%

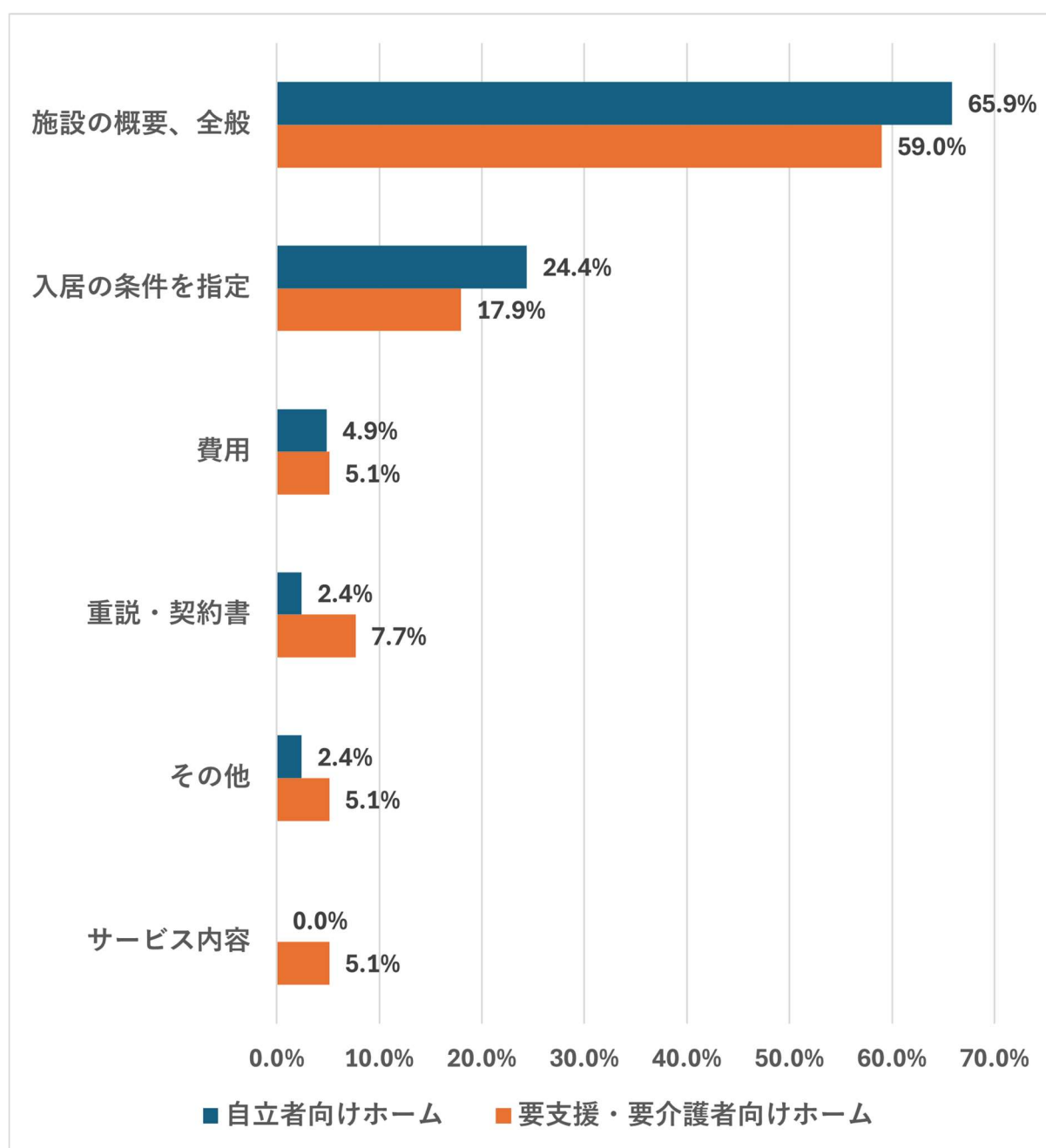


⑤相談内容の分類(複数選択・不明者除く)

主な相談内容について「自立者向けホーム」希望者と「要支援・要介護者向けホーム」希望者の別に集計すると、自立者向けホームを希望する場合は、「施設の概要、全般※」が 65.9%と昨年(66.7%)より0.8%減少し、「具体的な入居条件を指定した上での相談(入居の条件を指定)」が 24.4%で昨年(23.3%)より1.1%増えた。

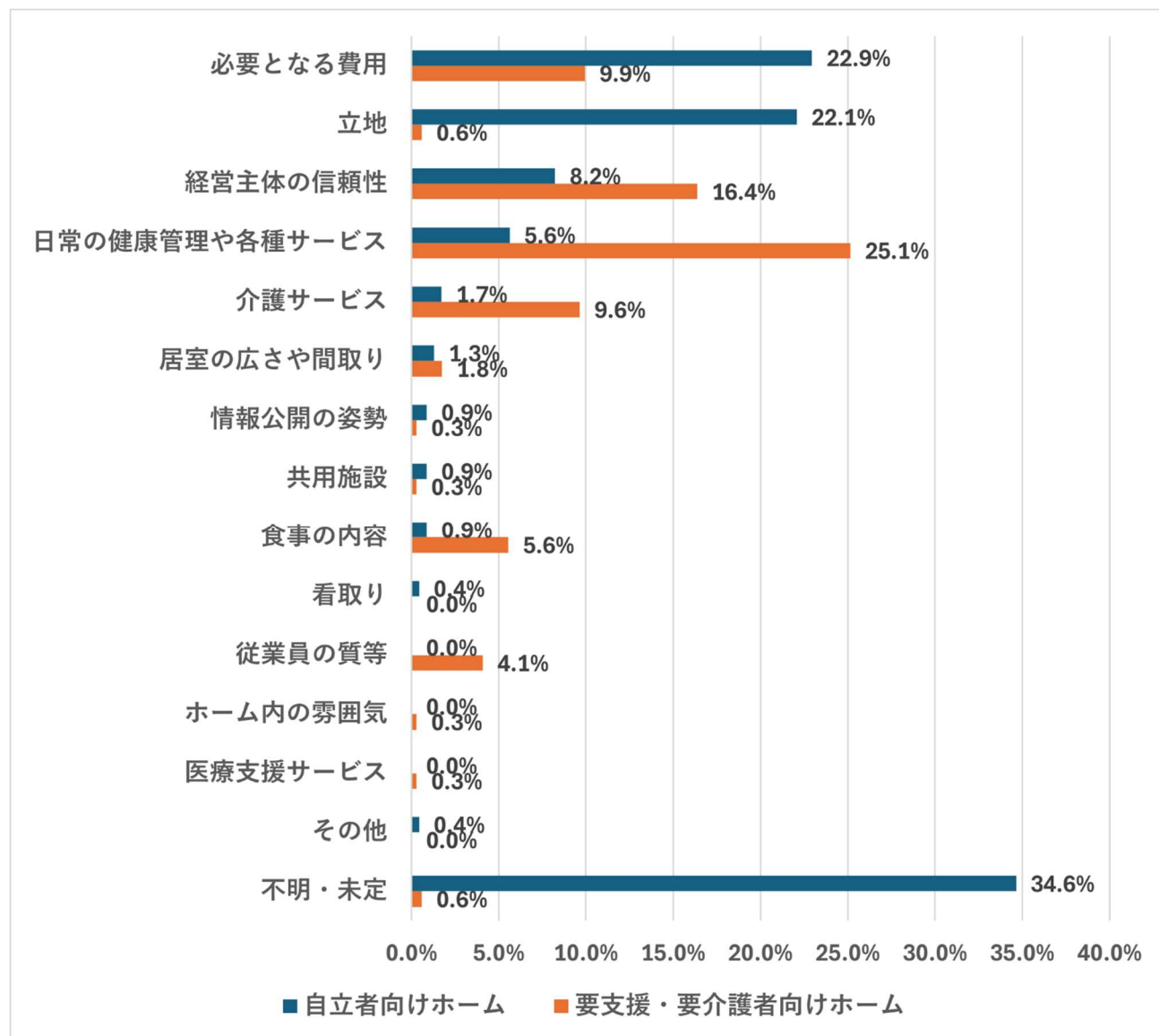
要支援・要介護者向けホームの場合は、「施設の概要、全般」が59.0%と昨年(49.1%)より約 9.9%増えた。「具体的な入居条件を指定した上での相談」が17.9%と昨年(42.1%)より24.2%減少した。

※施設の概要、全般 内容例)住み替えにあたっての注意点を教えてほしい、どのようにホームを選んだらよいのか 等



⑥入居にあたって重視するポイント(複数選択)

自立者向けホームを希望する方は「必要となる費用」と「立地」を重視する割合が高くなっており、これに加え「経営主体の信頼性」(8.2%)を重視している。要支援・要介護者向けホームを希望する方は「日常の健康管理や各種サービス」と「経営主体の信頼性」を重視する割合が高くなっており、これに加え「必要となる費用」(9.9%)を重視している。



3. まとめ

今回の集計結果では、本人からの相談が最も多く 57%、次に親族からの相談が26%だった。本人からの相談は、入居することを未だ決めていない段階での相談が多く、入居条件や、費用はどれくらいかかるのか等、入口部分の相談が多い傾向にあった。一方で、親族からの相談のうち約60%が要支援・要介護の親を抱える子供からの相談であり、入居希望者の年齢や状態、予算、希望する地域等具体的に条件を指定した相談が多かった。

「⑤相談内容の分類」では、「施設の概要・全般」が自立者向け、要支援・要介護者向け共に6割程となり、要支援・要介護者向けホームにおいては、昨年(49%)より10%増となった。「⑦入居にあたって重視するポイント」については、自立者向けホームを希望する方は昨年同様「必要となる費用」を最も重視しているが、

要支援・要介護者向けホームを希望する方は、「日常の健康管理や各種サービス」を重視する割合が高く、「温泉のあるホームに入りたいが自立型なので断られた、要支援でも入れる温泉付ホームを紹介してほしい」「介護付ホームへ入居したが、痰の吸引や口腔ケアをしてくれるホームへ移りたいので紹介してほしい」など具体的なサービス内容に関するご相談をいただいた。また、昨年約4割を占めていた「必要となる費用」については1割以下という結果になった。

相談者に対し、有老協が具体的なホームを紹介したのは57件、その内会員ホームは40件であった(会員ホームの中に、相談者の希望条件に合致するホームがない場合には、非会員ホームを紹介している)。

【相談例】

○入居検討者の状況

相談内容

○女性・90代・要介護

気管切開で人工呼吸器使用(現在、入院中で昼間は呼吸器を外すが夜間は付けている)、胃瘻もあり。そのような状態で有料老人ホームを探しているがなかなか受け入れてもらえない。

○男性・70代・要介護

父親がサ高住に入居しているが、住宅型有料老人ホームや介護付き有料老人ホームとどのように違うか。

○女性・70代・自立

以前に夫が60代の時に有料老人ホームを検討したが、いわゆる高級老人ホームでとても入居できないねと言う事になった。それからホームは検討していなかったが、夫も80代後半になり、今はまだ元気だが将来が不安になったので、これからホームを検討していきたいと思う。どのようなホームに入居するかを検討していきたいので教えて欲しい。

○男性・80代・要介護

入院中で退院後にホーム入居を検討。リハビリ病院のソーシャルワーカーに「うちは、この紹介会社を勧めています。月額予算は？」と言われるが、どう考えて月額予算を考えればいいのかもわからないし、紹介会社は沢山あるが勧められるところでいいのか不安がある。

○女性・70代・自立

直ぐにはホームに入居しないが、将来的にはホームへ入居したい。母は都内の有料老人ホームに入居していたが、106歳までホームで暮らしたので、自分も元気なうちにホームを検討したい。いろいろ調べてみたが、どのように調べたらよいかわからないので連絡した。

○男性・80代・要支援

妻(要介護3)、自分(夫 要支援1)の二人で一緒に入居できるホームを探したい。既に見学したホームについて費用の見方などは説明を受けた。